

大気へのベンゼン排出抑制の取り組みについて

平成 15 年 6 月 20 日
帝国石油株式会社

南長岡ガス田にて操業中の越路原プラント（新潟県越路町）・親沢プラント（新潟県長岡市）では、天然ガス中に含まれるベンゼンの一部が処理過程において大気に排出されていましたが、平成 13 年以降ベンゼン排出抑制方法の検討に取り組み現場でのパイロットテストを経て、平成 14 年 11 月には両プラントに燃焼式ベンゼン除去装置を設置しました。

ベンゼン除去装置は今日まで順調に稼動しており、大気へのベンゼン排出量の削減率は装置完成前の 95%以上となっています。

今後も事業活動による周辺環境への影響に配慮し、一層の削減に努力して参ります。

以上

| | 除去装置設置日 | 平成 13 年度排出量 | 平成 14 年度排出量 | 平成 15 年度排出量 (予想値) |
|---------|-------------------|-------------|-------------|----------------------|
| 越路原プラント | 平成 14 年 11 月 15 日 | 130 トン | 90 トン | 約 5 トン |
| 親沢プラント | 平成 14 年 11 月 16 日 | 130 トン | 68 トン | 約 5 トン |